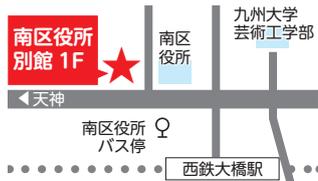


ふくしのまち福岡



社会福祉法人福岡市社会福祉協議会
 南区社協事務所（南区社会福祉協議会）
 福岡市南区塩原 3-25-1 南区役所別館内
 TEL:092-554-1039 FAX:092-557-4068
 Eメール:minamiku@fukuoka-shakyo.or.jp

福岡市社会福祉協議会
 マスコットキャラクター
 ここと



西長住校区

高齢者お楽しみ会 ～みんなに笑顔と元気を！～



秋が深まり、風に舞う落葉が美しい令和3年11月中旬、「高齢者お楽しみ会」が開催されました。

コロナ禍により一堂に会して食事会などの行事が行えない中、高齢者が家に閉じこもったままにならないよう、校区社協が様々な工夫を凝らし、笑顔で過ごせるように企画しました。

多くの方に参加してもらえよう、午前と午後の2部構成にし、「女性デュオの楽しい歌とトーク」「保育園児からのビデオレター」「園児代表によるメダル授与」「自治会長、民生委員との顔合わせ」などが行われました。

会がお開きになると、参加者の皆さんはお弁当と元気をお土産に、満面の笑顔で帰っていかれました。



「ヒロ&エリ」の軽快なトークと歌で盛り上がりました

大楠校区

ボランティア養成研修会 ～地域に助け合いの輪を！～



何を手伝ってもらおうかな？

大楠校区では、生活支援ボランティアグループ“そよかぜ”が、「ちょっとした困りごとを助け合える地域にしたい!」という思いから、校区住民を対象にボランティア養成研修会を開催しました。

グループに分かれて、手伝ってもらいたい内容が書かれたカードを選び、「誰か手伝ってくれませんか?」「それなら私できます!」というやりとりを通して、地域での助け合いを体験できるゲームを実施しました。

最後には、カードゲームを通して感じたことを発表し、地域で課題になりそうなことや、自分たちにできそうなことを確認しました。

この研修会での学びや気づきを、地域での新たな助け合いの活動につなげていきたいと考えています。



誰か、手伝って～!

生活支援ボランティアグループとは？

日常の“ちょっとした困りごと”のお手伝いを、“できるときに、できることを、できる人が”行う、身近な地域のボランティアによる支援活動を行うグループです。南区では、7校区で活動が行われています。

南区精神保健福祉ボランティア講座 ～こころの病について一緒に考える講座～



精神科医による講話



“わたしたちにできること”話し合いの発表

シニア世代(概ね50歳以上)を対象に、こころの病について一緒に学び、理解を深めながら、ボランティア活動を養成することを目的に、講座を実施しました(受講者26名)。

4日間の講座では、精神科医や障がい者施設の職員、障がい当事者のご家族を講師に招いて、こころの病や普段の生活状況等について学習しました。また、「多くの人に障がいや病を理解してもらいたい」というご家族の思いにも触れることができました。

また、障がい福祉サービス事業所での作業の様子を見学して、当事者の活動に触れる機会も設けたほか、最終日には、講座で学習したこと、経験したことを踏まえ、「これから私たちにできること」について受講者で話し合いました。

短い講座の期間だけでは足りず、受講後アンケートでは「まだ学び足りない」「もっと知りたい」「困っていることをもっと理解したい」「役に立ちたい」など前向きな意見を多くいただきました。

南区社協では、皆さんの熱い思いを大切にしながら、精神保健福祉の理解者を増やし、意欲的にボランティア活動等に取り組んでいただけるよう、受講後のフォローアップを定期的にも実施する予定です。

福岡県宅地建物取引業協会 南部支部 様から子育てサロンへ 絵本を寄贈いただきました

公益社団法人福岡県宅地建物取引業協会 南部支部は、毎年、青少年の健全育成や社会福祉の増進を目的に、地域社会への貢献活動を行っておられます。

これまでは、青色防犯パトロール車や防犯ブザーの寄贈等、防犯による安全安心のまちづくり支援を長年続けてこられました。コロナ禍の中で子どもの笑顔や健全育成を応援したいとの思いで、令和3年度は、南区内の子育てサロン18団体に絵本を5冊ずつ寄贈いただきました。

絵本を受け取った子育てサロンからは、「子どもたちは、新しい絵本を手にしてとても喜んで。絵本を読んで豊かな心を育てほしい」との声が寄せられました。



わーい、
新しい絵本だ!
早く読みたいな。



写真左) 福岡県宅地建物取引業協会南部支部
宮内久滋支部長



親子で楽しく読んでいます